

平成 25 年日本熱物性学会第 3 回 (2013-3) 役員会議事録

日時:平成 25 年 9 月 21 日(土) 役員会 14:00~16:30

場所:芝浦工業大学豊洲キャンパス 教室棟 4F 407 教室

出席者:(五十音順・敬称略)

青木秀之(東北大学)	上利泰幸(大阪市立工業研究所)
池内賢朗(アルバック理工)	大村高弘(ニチアス)
小口幸成(鷗友学園)	小澤俊平(千葉工業大学)
小原拓(東北大学)	佐藤讓(東北大学)
長坂雄次(慶應義塾大学)	姫野修廣(信州大学)
平澤良男(富山大学)	堀部明彦(岡山大学)
宮崎康次(九州工業大学)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
元祐昌廣(東京理科大学)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工業大学)	山口勉功(岩手大学)
山田修史(産業技術総合研究所)	山田純(芝浦工業大学)

審議事項:

長坂会長より挨拶があり、配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号:13-4-1-役

元祐評議員より、資料 13-4-1-役 に基づき前回議事録の確認があり、一部変更の後に承認された。

(2) 第 34 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:13-4-2

平澤 34 回シンポジウム実行委員会委員長より、資料 13-4-2 に基づき、シンポジウム準備状況について報告があった。HP に論文集代金の誤記があり、すぐに修正したが、数名が該当し、当日会場にて補償するとのこと。講演論文はほぼ集まっているとのこと。

(3) 総会に関する事項……………資料番号:13-4-3~7

学会賞候補者

佐藤表彰委員会委員長より、資料 13-4-3、13-4-4 に基づき、学会賞候補者について報告があった。論文賞 2 件を、奨励賞 2 件、功労賞 1 件、名誉賞 1 件が推薦され、役員会にて承認された。34 回シンポジウム総会で表彰予定。

特別感謝状

長坂会長より、資料 13-4-5 に基づき、藤井丕夫先生の学会への多大な貢献に対して特別感謝状を発行する案について説明があった。また、事務局の事務補助の方への感謝状を発行予定。

第 35 期役員候補者

山田事務局担当より、資料 13-4-6 に基づき、第 35 期役員候補者、並びに会長・副会長の推薦者が提示

され、了承された。34回シンポジウム総会にて承認されることとなった。

総会資料と進行

山田事務局担当より、資料13-4-7に基づき、第34回シンポジウムで開催される総会資料案が提示され、承認された。

(4)第35回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:13-4-8

元祐第35回シンポジウム実行委員会幹事より、資料13-4-8に基づき、第35回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。2014年11月22日(土)～24日(月・祝)での会場確保、実行委員会での検討事項などが報告された。

(5)各種委員会報告……………資料番号:13-4-9

編集委員会

堀部編集委員会委員長より、資料13-4-9-①に基づいて、活動報告があった。11月号の内容案が提示された。ATPC報告記事が掲載予定で、34回シンポジウムの報告関係は2014年2月号になる予定。

表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、活動報告があった。熱物性賞の在り方について検討予定であること、学会誌での投稿論文の査読過程で相当するものがあれば編集委員会より推薦して頂くことになった。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料13-4-9-②に基づいて、報告があった。講演論文集のweb公開について、閲覧は会員・非会員の区別なし、ダウンロード・印刷が可能、最近5年分は1ページ目のみでそれ以前のは全文掲載、という仕様で、34回シンポジウム開催前に公開予定。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料13-4-9-③に基づいて、活動報告があった。シンポジウムでのベストプレゼンテーション賞の選考について説明があった。原則例年通りで、一部変更予定。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料13-4-9-⑤に基づいて、活動報告があった。

(6)研究分科会報告……………資料番号:13-4-10

山田事務局担当より、資料13-4-10-①～④に基づき、研究分科会について説明があった。

(7)事務局報告……………資料番号:13-4-11, 13-4-12

山田事務局担当より、資料13-4-11, 13-4-12に基づき、協賛と会員異動について報告があった。

(8)その他

- ・平成26年より事務局が東京地区から離れるため、山田事務局担当が東京連絡事務担当に就任される。
- ・長坂会長より、ATPC awardsについて、significant contribution award, young scientist award 候補者の推薦を行った旨が報告された。また、次回のATPCの開催地については最終決定が10月上旬になされるところのこと。

- ・ 2014 年の ECTP がポルト(ポルトガル)で, 2015 年は STP がホールダー(USA)で開催予定.

以上